

**2025年 保護者等向け 児童発達支援評価表**

公表日： 2025年12月15日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス我孫子教室

対象人数（保護者）19人 回答者数 17人 回収 89.5%

	チェック項目	とても満足	概ね満足	やや不満	不満	わからぬ	ご意見	教室からのコメント
満足度	1 お子様は安心感をもって通所していますか？	10	6			1	・毎回、前日の夜から楽しみにしています。	今後もお子様たちがより一層安心感をもって過ごしていくように努めてまいります。
	2 お子様は楽しんで通所していますか？	10	5	1	1			運動メニューが固定化しないように工夫をし、楽しみながら活動に参加できるように職員間で意見を出し合いながら、日々の活動内容を考えております。
環境・体制整備	3 怪がないように安全に配慮した空間と活動の提供がされていますか？	9	8					安全面を重視し、利用人数と職員の人数を考慮した運動メニューを提供しております。
	4 生活空間は、清潔で、整理整頓がされており、活動に適した空間になっていると思いますか？	7	8	1		1	・契約時以外で伺う機会がなかったので評価できない。	毎日の掃除や通年を通して環境整備を行っております。
	5 お子様にとって活動のスペースは十分だと思いますか。 尚、こどもひとり当たりの活動スペースは、2.47m以上と設備基準には定められています。	9	7			1		活動の内容を工夫し死角をなくして安全に活動しております。
	6 職員の配置数は適切で十分だと思いますか。尚、定員10名以下の施設では、保育士または児童指導員の人員配置は2名以上と人員配置基準に定められています。	13	4					人員配置基準を満たしております。
	7 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。 (※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。)	7	8			2	・契約時以外で伺う機会がないので評価できない。	絵カードを提示しその子にお子様にあった伝え方で、場所の説明や行動の説明をし誘導しております。
適切な支援の提供	8 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	8					個々に応じた目標に向け毎回違うプログラムを考えております。
	9 教室がホームページで公表している支援プログラム（※2）は、実際に提供されている支援内容と合っていると思いますか。 (※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。)	7	9			1		事業所全体での支援プログラムの研修を行い、プログラムの周知をしております。
	10 こどものことを十分理解し、こどもや保護者のニーズや課題に沿って客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 (※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。)	9	8					モニタリング時にご説明させていただいているが、HUG支援システムでの支援計画書を公開させていただいている。
	11 児童発達支援計画に沿った内容で、支援が行われていると思いますか。	9	7			1	・まだ利用させていただき始めたばかりなので。	計画書に基づいた支援を心がけ、毎月計画会議を行い、必要なときには見直しをしています。
	12 社会的な活動や外部でのイベントなど、多様な活動が提供されていますか？※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	8	8			1	・動物とのふれあいや、芋掘りなどの土に触れる体験は本人もすごく好きなのでまた開催してほしい。 ・毎回イベント参加を楽しみにしています。 ・イベントの回数が増えたら嬉しいです。	今後も様々な経験をしてもらえるようイベントを企画してまいります。
保護者への説明	13 教室を利用する際に、サービスの内容と提供時間の範囲などが記載された運営規程、支援プログラム、利用者負担(費用)等について十分な説明がありましたか。	10	7					契約時に画面にてご説明させていただいている。
	14 「児童発達支援計画」を示しながら、支援目標や内容の説明がありましたか。	9	7	1				モニタリング時に計画書を見ながら説明させていただいている。
	15 教室では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等※4)や家族等も参加できる研修会や情報の提供が行われていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。 (※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目指します。)	5	6			6	・参加したことがないので評価できない。	今年初めてペアレントトレーニングを開催いたしました。 来年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。
	16 日頃からお子様の状況について情報交換がされ、健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	6			2	・送迎の際にいつもたくさんお話ししていただけるのでとてもありがたい。	送迎時にお会いできない保護者さまにはお電話やメールを通してお知らせしています。ご心配なことがございましたら、お気軽にご連絡ください。
	17 定期的に、面談が行われたり、助言を受ける機会はありますか。	8	7			2	・毎回の面談で本人の今後の課題を確認することができます。	半年に1回のモニタリングを必ず行っておりますが、気になる様子があった時には、その都度お話をさせていただいている。
非常時等の対応	18 教室の職員から共感的に支援をされていると感じますか。	8	9				・とにかく褒めて下さるので親としてもすごく嬉しい。他の場ではやはり他の違いを感じて落ち込むこともありますので、どの職員の方にお会いしても辛くなくとてもありがとうございます。	お子様の特性に応じた対応を心がけております。
	19 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	4	7			6	・参加したことがないので評価できない。	ペアレントトレーニングの際など、保護者様同士の交流する時間を設けていただいたらと思っております。
	20 相談や苦情解決の体制があり、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応がされていると思いますか。	7	7			3		心配なことがございましたら、お気軽にご相談ください。
	21 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため、十分な配慮がなされていると思いますか。	9	7	1				色々なお知らせをHUGでご連絡することが多くなりましたがその日のご様子など直接お伝えすることも大切だと考えております。些細なことでもございましたら、対応させていただきます。
	22 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	8			1		毎月のお便りやHUG支援システムで毎回活動の報告はさせていただいている。
非常時等の対応	23 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	8			1		個人情報の漏洩には十分配慮し、適切な管理を徹底しております。
	24 教室では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	8			2		契約時にご説明させていただいているが、安心していただけるよう周知の方法を検討してまいります。
	25 教室では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出など必要な訓練が行われていますか。	4	6	1		6		年2回の避難訓練を実施しています。HUG支援システムでお知らせしていますが、今後は毎月のお便りにも掲載するなど、周知の方法を検討してまいります。
	26 教室より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	10					カウンター、ロッカーにはコーナーガードを取り付け、入口にはチャイルドゲートを設置し、内側から鍵をかけて、飛び出し防止等の対策をしています。
	27 事故や怪我などが発生した際に、教室から速やかな連絡や状況等の詳細について説明が十分にされていますか。	6	8			3		契約時にお伝えさせていただき、緊急時の連絡先のご記入をお願いしております。

公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス我孫子教室

公表日 2025年12月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40m以上確保できているか	7		規定に沿った広さではあるが、運動するための十分な広さは確保できていない。 活動内容や使い方の工夫ができるよう職員間で話し合いながら実施していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室を上手く活用することができている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	現在は第3者による外部評価は行っていない。今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内の研修に参加している。
支援計画	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画検討会議の際に、計画書の内容、該当時の情報共有を行っている。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		

適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		主任の指導員が柱となる運動内容を考案し、詳細についてを全体で話し合い決定している。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼時に児発の支援内容などについて話す時間を設けている。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		児発終了後は5~10分程度の時間をとり、支援についての振り返りや情報共有を行っている。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		HUGの記録だけではなく、職員のメモのように残しておけるものも用意している。 日々の活動内容を考える際に参考にしている。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		発達センターの方に出向いていただき、支援の助言をいただいた。 該当児童だけではなく、他のお子様にも活かせるような内容、支援の見立て方法など、参考になる情報をいただくことができた。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。		7	保育園・幼稚園等での交流はない。地域の方との交流の機会を今後検討していく。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		保育園送迎、学童送迎の保護者には直接お会いする機会が極端に少ないため、気になることなどがある場合は電話などで直接お話する時間を作り、共通理解をはかっている。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ペアレントトレーニングを2回開催した。もっと多くの保護者に参加していただけるようにアナウンスしていきたい。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	父母の会などはない。ペアレントトレーニングは開催したが、保護者会の開催はない。 普段の活動の様子を見ていただく、または活動の成果を披露するなどのイベントを考案し、その際に保護者同士での交流ができるような時間を設けることも検討したい。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	招待する行事は実施できていない。今後検討していく。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		
非常時等の対応	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP計画の内容を見直し、再度全体への周知が必要。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		1週間に1個は出せるように心がけており、職員会議等で改善策などを全体で話し合い、共有している。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		対応に迷った場合など、すぐに相談ができるような環境作りを心掛けている。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		